



つくしんぼ

第290号

発行 社会福祉法人佐渡福祉会、岩の平園保護者会、第二岩の平園保護者会
佐渡市上新穂1256番地 電話 0259-58-8022 URL <http://sadofukushikai.jp>



社会福祉法人

佐渡福祉会

新年のご挨拶

理事長 弾正 俊一

明けましておめでとうございます。コロナ禍ではありますが皆さまには希望に満ちた良い年をお迎えのこととお察しし、お喜びを申し上げます。どうぞ本年もよろしく願います。

さて、昨年私が一番(?)嬉しかったことと申しますと、まつはらの家のパンピーノが新潟県より「人にやさしいまちづくり賞」という大きな賞をもらったことです。その後、佐渡地域振興局長様には幾度となくお買い物にお越しただいておりますし、振興局では、部長様方が大挙してお越し願ったこともありました。

私共の施設の利用者の活動がこんなにも影響力のあるものかと感じ入った次第です。実際、パンピーノの営業時間は10時から15時までですが、殆どの商品は閉店前に売り切れてしまいます。理由はいろいろありましようが、一つには我々の施設の利用者を見守る、周囲の皆さんの温かい心がなすわざだと思えます。パンピーノよりおいしいパンを販売しているお店は沢山あると思いますが、そのよ

うなお店と肩を並べてパンピーノは大繁盛なんです。このことはパンピーノのパンがおいしいからという以前に、大事な問題が隠されているからではないでしょうか。私たちはそのような皆さんの温かいまなざしを受けながら「人にやさしいまちづくり賞」に恥じない活動をしなければと思っています。当初、パンピーノは地域の皆さんが気軽にお茶を飲めるような場所に...と思っ始めた事業です。しかし、限られたスペースの中ではそれが叶わず今の状態に甘んじています。私はゆくゆくはパンピーノが所期の目標を達成できるよう、地元の人たち、私たちを理解してくれる大勢の人たちとゆっくりと話し合えるような場所になりたいと思っています。それでは以上のようなことを念頭に、本年も楽しい施設運営ができてきますよう、精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いいたします。新しい年が皆さまにとりまして素晴らしい年になりますことを祈念して私の新年の挨拶とさせていただきます。

第11回 佐渡ふれ愛フライングディスク大会



小雨が降り、気温も下がり、秋の訪れを強く感じた10月7日「第12回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」が真野地区の佐渡スポーツハウスで行われました。

佐渡市障がい者スポーツ協会と共催で6施設・団体から38名の選手と18名の支援者、他に障害者スポーツ指導員やフライングディスク公認指導者、そして多くのボランティアの方々に参加。協力をいただき、楽しく行われました。

今回はアキュラシー競技の5m(5m先にあるゴールに10回投げて通過した数を競う)とディスタンス(3回遠くへ投げて距離を競う)の他、ペア戦として2人一組のペア(選手同士または選手と支援員)でアキュラシーの3m&7mを各10回ずつ投げ、その合計点(20点満点)を競いました。

その結果、アキュラシー競技では9点の選手が1名、ディスタンス競技では体育館の壁に当たった為、特別ルールが適用され42m10cmとなった選手が1名いて、その時は大きな喝采を受けていました。

またペア戦は新潟県新星学園のベストマッチチームが14点で優勝しました。

今大会も新型コロナウイルス対策で手



の消毒や使ったディスクの消毒等を行いながらの大会でした。そしてそのコロナウイルスの影響もあり、当日の不参加者も見られましたが、ほのぼのとした、あたたかい大会でした。

なお春の県大会の結果、全国障害者スポーツ大会・栃木大会の県代表選手として佐渡から2名が選ばれたという嬉しいニュースもたらされました。

さて、来年度も5月に「第12回佐渡フライングディスク大会」を、10月に「第13回佐渡ふれ愛フライングディスク大会」を開催する予定です。佐渡市陸上競技場のグラウンドで快晴のもと、より多くの選手や支援者の参加を得て、より盛大に大会を行いたいと思います。誰でもウエルカムです。多くのみなさんの参加をお待ちしています。奮ってご参加ください。

また、当協会ではフライングディスク用具の貸し出しも行っております。事務局(第二岩の平園 ☎22-4165)までご連絡ください。よろしく願います。みんなでフライングディスクを楽しみましょう。

(新潟佐渡障害者FD協会事務局 矢本)

佐渡市インターンシップの 受け入れについて

佐渡市産業振興課では従来の1社集中型のインターンシップに加え、複数企業を見学し、様々な企業を知るためのツアー形式の複合型インターンシップも企画しており、当法人も複合型コースに参加しました。

佐渡に関心のある学生が対象であることに加え、新型コロナウイルス



の状況もあり、少人数の参加を予想していましたが、当日は予想を上回る19名の受け入れ希望がありました。

9月5日から8日までの開催期間のうち、6日の枠で参加し、法人本部で事業内容等について説明をしました。本来であれば施設見学して雰囲気を感じてもらいたいところでしたが、新型コロナウイルス対策により施設では受け入れが難しく、動画をとおして各施設の様子を見てもらいました。参加学生からは多数の質問があり、就職に対する熱意が伝わってきました。

現在、佐渡圏域では全国に先駆け、労働人口の減少が進んでいます。当法人の採用活動でもその影響を感じるようになってきました。これからもサービスを維持していくために、人材の確保は必須です。直接採用につながる活動はもちろん、当法人や障害福祉についてもっと知ってもらい、将来的な採用につながるような活動も積極的に行うことで、人材確保に努めて参ります。

今後、当法人の採用活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

…………… 障害者支援施設における ICT 化について ……………

第二岩の平園では「情報共有による業務効率化」と「職員間のコミュニケーションの充実」のために ICT を導入しようと取り組んでいます。

ICT は、「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の頭文字で、通信技術を活用したコミュニケーションを意味します。

「情報共有による業務効率化」については「支援記録システム」を導入し、運用を始めています。これまで利用者の支援記録や通院、処置等の記録は手書きで行い、それぞれ日誌や個人別のファイルに転記していました。また、支援の詳細に関するお願い事項やご家族からの依頼事項などもメモしてから共有ボードに掲示し、確認した職員から印をつけていました。そのため、業務終了後まで記録に時間がかかっていたり、共有ボードがメモ



で埋め尽くされ、確認したい情報がすぐに見つからなかったりするという問題があり、記録の閲覧についても書類棚まで個々のファイ

ルを探しに行かなければならず、書類の保管スペースの問題もありました。

「支援記録システム」の導入によりこれらの記録がサーバーに一元化され、転記に要する時間の削減や書類保管スペースも不要になりました。加えて施設内に Wi-Fi(無線 LAN) を整備しタブレット端末を導入したことで、毎日の検温などの記録も非接触型の体温計で計測後、端末に入力するだけで瞬時に共有できるようになりました。また、昨今のコロナ禍において利用者のご家族のオンライン面会でも活用しています。

「職員間のコミュニケーションの充実」については、利用者の支援にあたって職員間で様々なコミュニケーションがなされます。前述の「支援記録システム」にはある程度整理され、均質化された情報が蓄積されますが、一見とりとめもない会話の中に実は価値のある情報が含まれていることも多くあります。これらをどのように施設全体で共有していくか。まだ導入には至っていませんがビジネスコミュニケーションツールなども考えていきたいと思っています。

このようなことができる背景にあるのは近年の ICT 機器の劇的な発展です。これからは ICT 機器を使って利用者に対して、どのようなコミュニケーション支援ができるのかを模索していきます。

「コロナ禍での取り組みについて」

法人本部事務局長 山田元章

新型コロナウイルスに関して、7月下旬頃からの第七波によって感染者が増え、佐渡島内では盆以降からさらに増えましたが、当法人でもその影響によって、8月に多数の施設利用者・職員が感染しました。前号での案内のとおり、盆踊り大会と岩の平園祭は中止としましたが、各施設においても夏から秋にかけて計画していました旅行・外出・各種行事の多くを中止しました。

その後も施設利用者・職員の中で感染者が出ています。感染拡大防止対策として、日々の検温等による体調確認、消毒とともに、職員には体調が良くない場合は出勤を控えるよう周知していますが、以下のことにも取り組んでいます。

各施設では、防護衣、抗原検査キット等の備蓄をしています。感染もしくは発熱等の症状が出た施設利用者には支援の都度、防護衣の着脱が必要で、濃厚接触となる他の利用者、支援に関わった職員には抗原検査キットで感染確認をするため、いずれも短期間で大量に消費します。そのような状況になった場合でも不足にならないよう努めています。佐渡市にも必要に応じて頂くよう依頼しています。

この後に紹介があります食事面での工夫、アラカルトに掲載されている活動、その継続にも取り組んでいます。ご覧ください。



入所施設の食事紹介

入所施設の利用者の皆さんにとって食事は楽しみの一つです。特に、行事の食事はいつも以上に豪華で喜ばれています。まだ暑い夏の頃から「今年のクリスマスはどんなのが出るの?」と聞いてくださる利用者もいます。週間献立表を掲示しに行くのと、皆さんが、わくわくしながら献立表のまわりに集まってきます。

コロナ禍により様々な行事が中止、縮小される中、代わりの行事としてお楽しみ会が開催され、岩の平園ではお昼にお子様ランチならぬ、大人様ランチを提供しました。ボリュームたっぷりな食事に少々量が多いかな?と心配でしたが、残食もほぼなく、皆さん大変喜んでおられました。

第二岩の平園では、月に一度選択メニューの日を設けています。自分で選んだ食事を食べる喜びを感じていただいています。利用者の皆さんの楽しみを一つでも多く増やしていきたいように、アイデアを出し合って美味しい食事を提供していきたいです。

大人様ランチ



選択メニュー(親子丼orかに玉丼)



どっちにしようかな?

1枚1枚手焼き!

選択メニュー(肉うどんorカレーうどん)



岩の平園 栄養士 外館 梓

～納涼会～

お茶会時にかき氷、夜は園庭で花火を楽しみました。



～島内旅行～

新型コロナウイルス感染防止のため、島内の感染状況を見て、外出を行っています。買い物や外食で良い気分転換ができたと思います。



第二岩の平園 コーナー

～納涼会～

水鉄砲でゲームをしたり、たこ焼きを食べたり、楽しい一日を過ごす事が出来ました。



～ピクニック～

みんなで新穂ダムまで歩きました。野外での休憩に疲れも吹き飛ばしてしまうようです。



あんずの家 コーナー

～各種イベントでの出店販売～

販売の機会の少ない時期が続いていましたが、今年はイベントでの出店販売の機会も、少しずつ増えてきました。特に秋にはいろいろなイベントでの販売があり、日頃コツコツと作ってきた手芸品などをお買い上げいただきました。ありがとうございました。



新商品の紹介

羊毛フェルトボールをアレンジして、季節の小物などを作成しています。



フェルトの温かみを感じる、これからの季節におすすめの商品です。

～防犯・交通安全講習～



佐渡警察署の方より、日常に潜むさまざまな危険から身を守るためには、どうしたらよいかをお話いただきました。身近な話題に、利用者の皆さんも真剣な表情で聴いていました。講演終了後、パトカーにも試乗させていただきました。



～作業がんばってます～

暑い夏、今年も封入作業をみんなで頑張りました。封入作業はみんな慣れているため、折る人、袋に入れる人、封をする人と役割分担を決め協力して頑張りました。また、今年は新たな受託作業として、シール貼り作業もありました。部材の中心にシールを貼るため、難しかったもののたくさんの手裏剣を完成させることができました。

まつはらの家 コーナー



新商品紹介

トキてぬぐい、トキストラップ、ぬいぐるみを製作しました。まつはらの家やパンピーノでお買い求めいただけます。



～地元小学生がパンピーノに～

八幡小学校の1・2年生がパンピーノへ見学に来てくれました。食パンをスライスするところや焼きあがったパンを見たり、質問をたくさんしてくれました。



～アールブリュット出展～

両津総合体育館で市展（佐渡市美術展覧会）と共に開催されたアールブリュット展に、数名の利用者の日中活動に作成した作品を出展しました。



～お楽しみ会～

10月26日お楽しみ会を行いました。10月ということで…「トリックオアトリート！」ハロウィンパーティー！！どこからともなくあらわれた、ゾンビに魔女にパンダなど、職員の仮装に目がまん丸になる利用者もいらっしまいました。ゲームではお菓子釣りにチャレンジ。狙いを定めてそーっと竿をあげて、釣れると歓声が上がりました。仮装にゲームに喫茶、大変盛りあがったお楽しみ会となりました。



そよかせコーナー



ミーティングでは、佐渡市において今年度創設された総合福祉相談支援センターの担当者も出席し、必要な情報を共有しています。佐渡市との連携強化にも取り組んでいます。
担当職員が新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者になったときには、協働体制の事業所の職員が代わりに相談支援の対応をしたことがあります。今後、このような対応、相互協力が必要になることがあります。職員のスキルアップ、

- ・さまざまな事情から支援困難なケースでの連携による積極的な対応。
- ・事業所の緊急時等によるサービスの調整が必要になったときに、別の事業所でも対応できるようにするための利用者の情報共有。
- ・毎月2回ミーティングを開催し、ケース共有や地域の情報共有。
- ・協働する事業所の状況を考慮しながら、利用者の了解を頂いた上で、担当事業所の変更及び引継ぎ。

これまででは7月1日より、相談支援センター「そらうみ」と相談支援事業所「すたーと」と協定書を取り交わし、協働体制を開始しました。
以前から必要に応じて連携することがあり、通常の相談支援についてはこれまでと同様、各事業所で対応しています。協働体制により、以下のことにもより一層取り組んでいます。

◆相談支援事業所の協働体制による機能強化について

専門性の向上にも取り組んでいます。
また、相談支援・障害福祉サービス事業所新任者研修を開催しました。毎年、概ね経験年数1～3年程度の支援者を対象に、春秋の2回開催しております。今年度も新卒社会人からベテラン、グループホームの世話人や事業所の管理者など、様々な支援者が参加されました。昨年度の参加者アンケートを参考に、今年度から障がい者の支援と題し、障がい別に理解を深めてもらう内容や具体的な支援方法を知っていただく講義を追加しました。これら協働体制の相談員も受講するとともに、講師としてお話をさせていただきました。受講し様々な分野の話を聞くことが出来るとともに、講師を担当することで、受講生に分かりやすく伝えられるよう内容をより深く理解していくこと、話し方や資料の作り方など伝える工夫を考えていくきっかけになっています。今後も市内の障がい者への支援の発展につながるよう微力ながら尽力してまいります。
今後、協働体制による機能強化を継続し、他の支援機関や行政の関係機関等とも協力することにより、利用者本人の意思を尊重した相談支援も継続して提供できるようにします。さらには、佐渡市内における障がい者の相談支援体制の強化に努めます。



6月～11月の寄付・寄贈者

▼法人本部

・新穂地区 土屋 甚健 様

▼第二岩の平園

・新穂地区 大葉 一松 様

・金井地区 たびのホテル佐渡 様

▼あんずの家

・真野地区 佐渡ゴルフ連盟 様

▼そよかぜ

・金井地区 佐渡金井キリスト教会 様



利用者状況

《第二岩の平園》

○退所

坂野絹枝さんが9月23日に退所されました。

おくやみ



《第二岩の平園》

11月23日、梶井鈴子さんがお亡くなりになりました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

職員動向(令和4年7月～令和4年11月)

I 新任

氏名	職名	採用日
寺尾 久美子	こもれび 支援課支援員(臨時)	8月17日付

II 退職

氏名	職名	退職日
原 小百合	岩の平園 支援課支援員	9月30日付
本間 知子	そよかぜ 支援課支援員(パート)	9月30日付

★薪の販売をします

杉……一束 250円
雑木…一束 300円
樅……一束 400円

配達も
します!



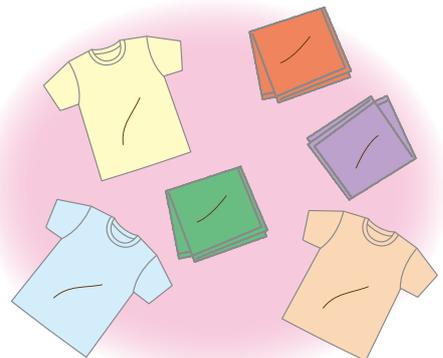
…… 薪の材料について ……

○あんずの家、まつはらの家では杉、樅、桜などの木から薪を作り販売しています。薪の材料となる木をいただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

連絡先 あんずの家 ☎ 23-3303
まつはらの家 ☎ 52-4744

★あんずの家よりお願い

○ご不要のタオル、衣類等の布類がございましたら、お譲りいただけませんか？お電話いただければ回収にうかがいます。ウエスの材料として使わせていただきます。



連絡先 あんずの家 ☎ 23-3303

短歌

三人の孫と一緒に孫となり
二日だけ娘に育てられたり

佼一